



京丹波町社協だより

ほほえみ。

第15号

2010年12月17日発行

和知人形淨瑠璃

「父の名は、阿波の十郎兵衛と申します」の語りにあわせて ベンベンと太ざお三味線の音(ね)

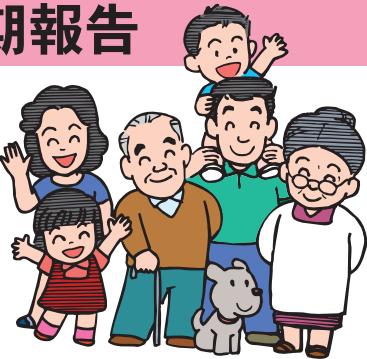
デイサービスのお誕生会で、和知人形淨瑠璃の公演がありました。
山里に育ってきた伝統芸能をじっくり堪能できました。

もくじ

○22年度上半期事業報告	2
○社協の在宅福祉サービス	4
○高齢者見守り隊情報No.7	6
○善意のご寄付ありがとうございます…	8

※本誌は共同募金の配分金によって作られています。

平成22年度 上半期報告



社協とは？

京丹波町社会福祉協議会は、福祉の拠点として幅広い住民参加による地域福祉・ボランティア活動を進めながら、介護保険事業など様々な事業を実施し、その機能を十分に発揮することで解決力を高め、住み慣れた地域で、その人らしく、安心・安全に暮らし続けられる福祉の地域づくりの実現を目指しています。

社協会員増強活動

◎社協会員増強活動

会員種別	会員数	備考
一般会員	5,665名	成人者：1,000円
賛助会員	16名	福祉施設・団体等：3,000円
合計	5,720,000円	

はじめに

平成22年度も上半期を経過しました。

現在、社協が取り組んでいる一つひとつ事業活動をしっかりと見つめる中で、京丹波町における福祉課題の掘り起こしと、よりよい活動を目指していきために、上半期事業の振り返りを行ないます。

在宅福祉推進事業

◎福祉サービス利用援助事業

高齢の方や知的障害や精神障害のある方で、①福祉サービスを利用するための手続きの仕方がわからない ②役所からくる書類がよくわからない ③公共料金の支払いが不安 ④通帳をどこにしまったか忘れる 等でお困りの方が安心して生活できるようお手伝いします。

支援内容	件数	備考
福祉サービス利用援助	10	福祉サービス利用契約手続き支援
日常的金銭管理	10	日常生活上の経費の管理
通帳・はんこの預かり	10	通帳・はんこの預かり
書類等預かりサービス	10	年金証書など公的書類等の預かり



介護保険事業

*件数は、予防給付（要支援1・2）と介護給付（要介護1～5）の合計数を表記しています。

*平成22年4月～9月の延べ利用件数

- ◎居宅介護支援事業（ケアプラン作成） 827件
- ◎訪問介護事業（ホームヘルパー派遣） 341件
- ◎訪問入浴介護事業（訪問入浴車派遣） 13件
- ◎通所介護事業（デイサービスセンターほほえみ） 280件

※平成22年4月～9月の延べ提供回数

高齢者等生活支援事業

- 軽度生活支援（掃除、洗濯、調理等の支援） 22件
- 外出支援（通院や買い物等への送迎） 640件
- 食の自立支援事業（給食サービス） 333件
- かけはし弁当（ふれあい型給食：和知地区） 493件
- 高齢者ふれあい調理実習 丹波地区 4会場
瑞穂地区 4会場
和知地区 25会場 54名
50名
289名
29件
425名
- 訪問理美容サービス
- ミニデイサービス事業（にこにこクラブ）



▲高齢者ふれあい調理実習（三ノ宮）



▲にこにこクラブ

障害者自立支援事業

- 居宅介護・重度訪問介護事業 63件

障害者等生活支援事業

- 外出支援事業（一般外出） 121件
- 重度心身障害児・者通院通所事業（人工透析／花ノ木通所） 96件
- 視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業 23件

障害者共同作業所

- 生活介護 232名
- 就労継続支援B型 548名

地域福祉・ボランティア振興事業

地域に根ざした活動を進めていくことを基本に、地域ニーズを把握し、その課題を地域住民全体で共有するなかで、福祉のまちづくりを進めていくことを目的に活動を展開。

- ◆高齢者見守り隊事業の実施 …ふれあいサロンを地域の福祉拠点とし、高齢者の見守り活動を促進。くら
しの応援ボランティアの養成、活動促進。傾聴ボランティア活動推進 等
(京都府補助事業)

- ◆ふれあい・いきいきサロン活動の推進 69 サロン / 93 地区

- ◆ふれあい福祉懇談会の開催 3 地区

- ◆地域介護力アップ事業 …高齢化が進行する京丹波町において、見守り・支えあいとあ
わせて地域の介護力を向上させる目的で、次の事業を展開

- 地域訪問支援員の友愛訪問活動の展開 ⇒ ひとり暮らし高齢者を中心に安否確認

- 2級ヘルパー等資格取得講習料の助成 ⇒ 介護職員の育成

◆ボランティア振興事業…ボランティアバンク登録状況

地 区	男	女	合 計
丹波地区	2 1	2 5 0	2 7 1
瑞穂地区	2 1	1 2 0	1 4 1
和知地区	6 0	3 0 9	3 6 9
合 計	1 0 2	6 7 9	7 8 1



▲第1回傾聴ボランティアの集い

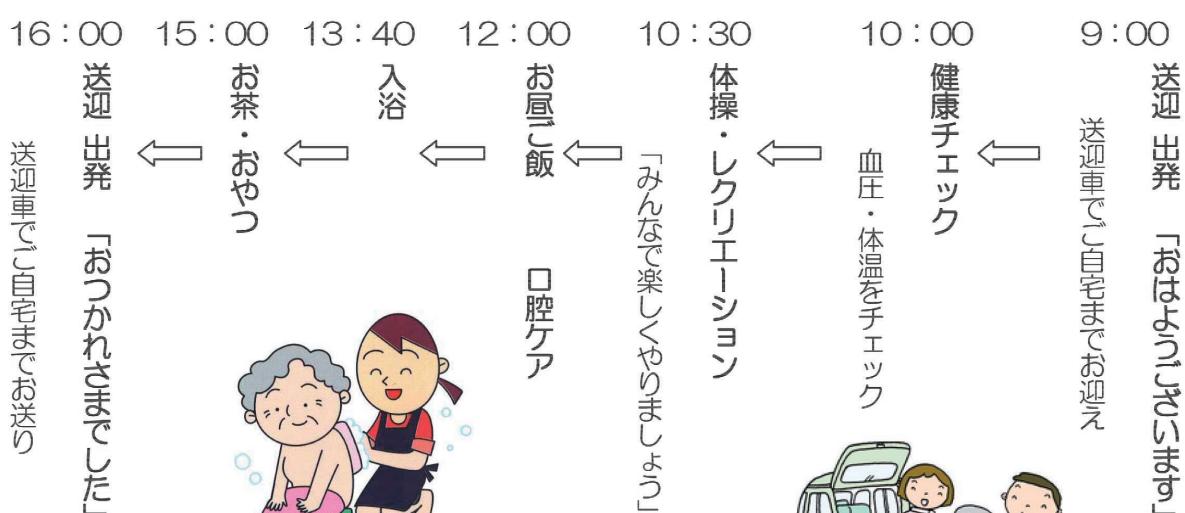
デイサービスセンター ほほえみへいらっしゃい

デイサービスセンター
はほえみ？

京丹波町社会福祉協議会では、介護保険事業の居宅サービスである通所介護事業所を運営実施しています。

利用者がデイサービスセンターにて通つて、入浴や食事などの日常生活上のあせ話や簡単な機能訓練のための体操、レクリエーションを提供しています。

また、季節の行事、お誕生会などの催しや買い物外出、お花見・紅葉狩りなどに出かけたりして、楽しく過ごしていただいているます。



デイサービスの一 日

ご利用ください！

デイサービスセンターほほえみの利用について、
また介護に関するご相談は、下記までご連絡ください。

京丹波町社協本所・瑞穂支所 TEL 86-1440
丹波支所 TEL 82-0126
和知支所 TEL 84-1833
デイサービスセンターほほえみ (瑞穂支所) TEL 86-1818



▲瑞穂中2年生がほほえみで職場体験

福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)

安心して生活できるようにお手伝いします。

こんなことでお困りではないですか?

- ・福祉サービスの利用手続きがよくわからない。
- ・役場からくる書類がよくわからない。
- ・福祉サービス利用料や公共料金の支払いが不安。
- ・通帳をどこにしまったか忘れる。



福祉サービスの利用をお手伝い



日常的な金銭管理をお手伝い



社会福祉協議会の「専門員」「生活支援員」がお手伝いいたします。

- 社会福祉協議会とは…地域の住民や福祉・保健・医療の関係者、行政機関、ボランティアなどによって構成されています。全国すべての市町村にネットワークを持ち、地域福祉を推進する公共性の高い団体です。
- 専門員とは…困りごとや悩みについて相談を受けます。そしてご本人の希望をもとに適切な支援計画をつくり、契約までお手伝いします。サービスの利用を始めてからも、支援計画を変えたい場合や心配な点があればいつでも相談に伺います。
- 生活支援員とは…契約内容に沿って、定期的に訪問します。福祉サービスの利用手続きや預貯金の出し入れをお手伝いします。
- お気軽にご相談ください。⇒京丹波町社協 TEL 86-1440・FAX 88-0422



使ってみてください 「サロン便利帳」！

内 容

- ① 「サロン日誌」
★ 実施日や実施内容を記録することができます！
- ② 「京丹波町ふれあい・いきいきサロンマップ」
★ 京丹波町にある70サロンの活動状況が一目で分かります！
- ③ 「京丹波町社協 貸出しレクリエーション一覧」
「ふれあい・いきいきサロン協力団体一覧」
★ サロンで楽しめるレクリエーションとサロンに協力してくださる団体が一覧になっています！
- ④ 「連絡先一覧表」ほか
★ サロンと関わりが深い社協や保健福祉課の連絡先が書かれています。空白スペースは自由に使えます！

特 徴

- ◆ 実施内容を記録することで、プログラムを考える時に参考になったり、振り返りができたりします。
- ◆ 新たに活動者が増えた時にサロンの説明がしやすくなります。
- ◆ サロンに関係するさまざまな資料をどんどん後付けできるので、世界に一つしかないファイルになります。



町内各地で、地域の福祉拠点、住民の拠り所として取り組んでいる“ふれあい・いきいきサロン”が、もっとみんなの身近な活動になるように『サロン便利帳』を作りました。サロン活動日誌として、その日の内容や参加者の様子、話題など記録ができます。

また、社協で貸し出しができるレクリエーション用具の一覧、協力機関・団体の紹介もしています。ぜひ、ご活用ください！

【連絡先】 本所・瑞穂支所 86-1440
丹波支所 82-0126
和知支所 84-1833

認知症 ひとりで悩まず 地域でともに

「認知症サポーター養成講座」を開きませんか！

京丹波町では、認知症の人とその家族が地域の中で、孤立することなく安心して暮らし続けることができるよう、その応援者（サポーター）を増やすための「認知症サポーター養成講座」を実施しています。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族ができる範囲で手助けする、例えば友人や家族に認知症の知識を正しく伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解してほしいのです。「認知症サポーター養成講座」を開いてみようと思われる企業や団体、グループなどありましたら、京丹波町地域包括支援センター（電話 86-1370）か京丹波町社会福祉協議会（電話 86-1440）までご連絡ください。

また、京丹波町では認知症予防インストラクター「京丹波スリー A」のみなさんが、「認知症予防教室」のインストラクターとして活躍しています。老人クラブやふれあいサロンなどでご希望のときは、京丹波町社会福祉協議会までご連絡ください。

京丹波町キャラバン・メイト



▲認知症サポーターの印
<オレンジリング>



高齢者見守り隊

情

報

社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会
〒622-0311 京丹波町和田田中6番地1
電話 0771-86-1440・FAX0771-88-0422

No.7

発行日 平成22年12月17日

傾聴 ～心に寄り添って～

高齢化・過疎化とともに地域のつながりが希薄化する今、ひとり暮らしや昼間一人で過ごす高齢者など、孤独や不安を抱える高齢者は京丹波町においても少なくありません。

人は誰でも心を込めて話を聴いてくれる相手を必要としています。『聴く』ということは、相手の不安を和らげ孤独感を軽減し、相手を理解し共に暮らすことのできる地域づくりにつながります。



傾聴ボランティア活動スタート！

今回、傾聴ボランティア養成講座を受講したみなさんが、初めて一人暮らしのお宅を訪問しました。「受け入れてもらえるかなあ…」「お話をもらえるかなあ…」と不安を抱えながらの訪問でしたが、みなさん快く出迎えていただき、いろいろなお話を聴かせてくださいり、とても有意義な体験ができました。

この体験をもとに今後の取組の進め方など話し合いました。



しかし…

「用事を頼まれたらどうしたらいいの？」「断ったら信頼関係がなくなるのでは…」「どこまで深く話に入り込んだらいいのか」「認知症の方への訪問は…」「細い道が多いので運転が心配」「相手のことを知らないと訪問しにくい⇒顔見知りの人も難しい」「受け入れてくれない人の見守りはどうするの？」「たくさん話される方の切り上げるきっかけがつかめない。」

でも…

「聴いてもらえるだけで、楽になった」との一言で緊張もほぐれ逆に救われた。難しい活動だが、素晴らしいこと、とてもやりがいのある活動だと感じた。と、とても力強い意見、感想をいただきました。

